

福祉と防災のまちづくりへ 市民の要求実現しました

2011
年度

熱中症対策、教室に扇風機

教室に扇風機 4年間で最上階全教室に
熱中症対策として、今年度から4年間かけて小中学校の最上階の教室の天井に扇風機を設置する計画が始まりました。

早急に全教室に設置を
刈谷市ではすでに全教室に扇風機が設置されています。岡崎市でも全教室に早急に扇風機を設置することを求めました。

扇風機（天井扇）設置状況

	平成 22 年度末	平成 23 年度予定	全教室数
小学校	27校 184教室	15校 85教室	47校 934教室
中学校	10校 69教室	5校 35教室	19校 428教室

耐震改修補助 30万円増

木造住宅の耐震補助 30万円増額
昭和56年以前の木造建築物について、すでに耐震診断を行った家屋に対し、これまでの60万円にさらに30万円（国補助）が上乗せされました。

補正予算でさらに拡大を
しかし、平成23年度の

補助は、すでに3月12日の時点で募集数いっぱいとなり、打ち切られました。日本共産党市議団は、希望しているすべての人が補助を受けられるよう補助枠を増やすことを要望しました。

住宅リフォーム助成と合わせた制度を
蒲郡市などが実施している、どんな住宅改修にも

使えるリフォーム助成制度と、介護の改修補助を組み合わせるよう要望しました。



妊婦健診 14回無料継続

08年から妊婦の健診が14回まで無料になりました。平成23年度も国は継続して補助を付けましたが、日本共産党は、恒久化と産婦健診への拡大を求めています。

しょうがい者就労支援

しょうがい者の就労はたいへん困難です。市しょうがい福祉課に今年度から、月二回（予約制）就労相談員をおきます。

ヒブワクチン・子宮頸がんワクチンなどに補助

2月から小児肺炎球菌とヒブワクチンおよび子宮頸がんワクチンの補助制度が始まりました。西三河では岡崎市をのぞく全自治体が全額補助です。岡崎市の一割負担はゼロにすべきと要求しました。



DV相談体制強化

りぶらの市民活動総合支援センターで受けていた相談を子ども部児童家庭課に専門窓口として設置。

学校図書室支援員増員

昨年度10名だった学校図書室支援員を20名に拡大。ただし、そのために減らした教員補助者のもとに戻すことが必要です。

しょうがい児・者一時預かり制度

介護者の突然の入院や死亡などにより、緊急にしょうがい児・者を保護する必要がある場合、民間施設で一時預かり（ショートステイ）を開始。

鳥獣害対策調査

イノシシやシカなどによる田畑の被害についてまとめた調査が行われていませんでした。昨年2月から被害状況のアンケート調査を初めて実施しました。

市議会議員

鈴木まさ子



市議会議員

きまた昭子



市民病院の

看護師増員

7対1看護の実現

市立看護専門学校の卒業生の就職で、市民病院に7対1看護（昨年までは10対1）が実現。さらなる看護師の労働条件の改善が必要です。

暮らし、子育て支援、福祉第一の予算への転換を

敬老祝い金 大幅カット

毎年敬老の日に80歳、87歳、99歳におよび百歳以上に支給されてきた敬老祝い金が縮減され、80歳は廃止、87歳（二万円）99歳（二万円）百歳以上（三万円）が一律一万円に減額されました。「毎年楽しみにしていたのに、昨年の寿バス切符等の廃止につぐ高齢者の切り捨てだ」との声があがっています。

老人福祉費4343万円カット

- 敬老祝い金を含めて総額4343万円の高齢者施策の削減がありました。
- 宅配給食制度の自己負担分 一食300円を350円に。
- 住宅改修費補助の上限を30万円から20万円に引き下げ、介護保険以外の家事支援を総時間500時間から300時間に短縮
- 電磁調理器、消火器などの日常生活用具給付費を半減
- 老人いこいの家整備運営費、老人クラブ連合会補助金カット



りぶら駐車場

無料時間を短縮

常に満車状態の駐車場の回転率を上げるという理由で、無料駐車時間を3時間から2時間に短縮。「これでは会議もイベントもできない」と市民団体から抗議の声が上がっています。もとにもどすべきです。

国保料引き上げ

ただでさえ高くて払えない国保。収納率は88%です。23年度の改正で所得の少ない世帯の保険料が引きあがり、今年度は、一人暮らし世帯で1万7910円の値上げ。減免制度の拡大など負担軽減を求めました。



老朽化した若松保育園の建替え延期

07年の耐震工事の際に建て替えを検討すべきでした。日本共産党は、「子どもたちの安全に関わる予算は最優先すべき」とただしました。

日本共産党は提案します

- ◆ 消防力の強化、消防職員の増員
- ◆ 橋りょうの耐震化
- ◆ 実態に即した避難訓練の実施・避難所の見直し
- ◆ 急傾斜地、地すべり地域の点検
- ◆ 住宅耐震補助の増額
- ◆ 防災無線の設置
- ◆ しょうがい者・高齢者世帯に防災ラジオを無料配布

岡崎市防災計画の早急な見直しを



3月11日に発生した東日本大震災は一人万人を超える死者を出しました。岡崎市も東海・東南海地震が30年以内に発生する確率は84%となっています。今回の震災はM（マグニチュード）9です。岡崎市の想定はM8.27です。早急な防災計画の見直しが必要です。福島原発について、日本共産党は国会で「津波の危険」を指摘してきました。東電と政府がそれを無視し「安全神話」をふりまいたことによる人災です。岡崎市も浜岡原発（御前崎）から100キロの圏内です。東海地震の想定震源域で断層の真上にある浜岡原発の即時停止を求めています。

東海・東南海地震が連動した場合の

岡崎市の被害想定

震度	5強
液状化面積	14%
建物全倒壊	960棟
〃 半壊	3620棟
火災	10件
焼失	20棟
死者数	20人
負傷者数	720人
帰宅困難者	40900人
水道機能障害	63300戸
電力機能障害	24000戸
避難所生活者数	24300人

岡崎市地域防災計画地震編より

東日本大震災で被災された皆様方に心からのお見舞いを申し上げます。

日本共産党は震災直後から救援募金を行っています。すでに3億4000万円を被災地の自治体（3県78市町村）に送りました。支援は長期にわたります。引き続き募金をお願いします。

振込先 郵便振替00860-5-60665 日本共産党西三河地区委員会

主な議案・請願について各会派の賛否

	共	自	ゆ	日	公	民	無
敬老祝い金の削減	×	○	○	○	○	○	○
老人福祉費の削減	×	○	○	○	○	○	○
りぶら駐車場無料時間短縮	×	○	○	○	○	○	○
国保料引き上げ	×	○	○	○	○	○	○
T P P参加中止（請願）	○	×	×	×	×	×	○

共：日本共産党岡崎市議団 自：自民清風会 ゆ：ゆうあい21
日：日本一愛知の会岡崎 民：民主クラブ 無：無所属